

平成二十五年度 定時総会開催

去る5月31日(金)午後1時30分より、香美町香住区「香住区中央公民館」にて平成25年度定時総会が開催されました。

当日は、2百59名の出席(内、委任状百81名)にて開始、小林理事長の開会あいさつに続き、ご来賓の香美町長代理の西内正明様と、新温泉町長代理の当センター監事、田辺武則様、兵庫県議会議員上田良介様よりご祝辞を頂きました。その後、会員表彰として10年勤続の会員表彰を行い、今年は12名の皆さんが表彰を受けられました。



小林理事長より表彰を受ける会員

議事は、温泉地域から大桐茂樹議長の進行で報告事項

第一号報告 平成25年度事業計画について

第二号報告 平成25年度収支予算について

て

第三号報告 平成24年度事業報告について
決議事項

第一号議案 平成24年度収支決算報告について(監査報告)

第二号議案 理事長に対する権限委任について

全ての議案が原案どおり可決承認され、川西副理事長の挨拶で閉会となりました。

総会終了後、アトラクションとして朝来市在住のアマチュア落語家三遊亭楽団治さんの落語とユーモアを交えた一風変わった講演会を行っていただきました。



講演中の楽団治さん

ボランティア活動紹介

6月15日(土) 13時〜新温泉町総合支所前の河原の草刈ボランティアを実施しました。温泉地域の会員12名で、毎年かくれんぼ全国大会の前に行っています。今年はその作業となりましたが、皆さん頑張ってください、約3時間も感謝されました。今後とも続けて行こうと思います。(業務担当 北村勝子)



草刈作業模様



かくれんぼ大会の様子

事業安全 適正就業強化月間

◆目的 シルバー人材センター事業は、急速な

少子高齢化が進展する中、地域社会活性化のための中核事業として、ますますの発展・拡充が期待されています。このような中であって、安全就業において平成 24 年度の重篤事故は、前年度に比して増加しています。シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」事を通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、安全・適正就業について役員、会員全てが、個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」のシルバー事業の一層の展開を図る事を目的としています。

◆安全・適正就業強化月間

平成 25 年 7 月 1 日～7 月 31 日まで

◆全国統一スローガン

「安全は 一声かける ゆとりから」

◆シルバー人材センターで取組む主な事項

- ① 安全・適正就業委員会の開催。
- ② 重篤事故につながる就業の見直し。
 - ・ 適正基準に掲げる安全保護具の完全着用の徹底。安全帽・安全ベスト等の安全保護具を未着装の下、就業した場合、違反者には就業停止措置(※)ペナルティー制度)を講じるなど安全就業の徹底を図る。この事については安全委員会、理事会等で有り方を諮っていく事とします。

- ・ 健康チェックや健康診断の積極的な勧奨などの健康増進策を図る。

③ 就業途上における交通事故の防止。

④ 安全終業対策の総点検の実施。

- ・ 就業前、就業後の安全意識等の徹底。

- ・ 機械、器具の徹底点検。

- ・ 安全保護具の点検と整備。

- ・ 巡回パトロールの重点実施。

- ・ 就業現場の総点検。

- ・ 交通安全対策の徹底。

⑤ 安全・適正就業の研修及び点検

- ・ 自主点検表による受注内容・就業実態の点検などによる適正就業に向けた改善。

⑥ 会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載

⑦ 会員に対して安全意識啓発及び情報の共有化を図るための資料等の配布。

※ペナルティー制度とは

保護具（安全帽、安全帯）を着用していれば、事故とならなかった、又は重篤事故とならなかった案件も見られるところです。このため、保護具を未着用の状態で就業した会員に対し、就業停止措置Ⅱ。ペナルティーを課すセンター（県下の各センターでも）も多くなっています。

平成二十四年度 全国の重篤事故事例

◆就業中

就業中の事故の 65% が「墜落・転落」であり、毎年度高い割合で推移している。

植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落事故が 12 件と突出しており、これら事故は不注意、油断等が原因と思われる。また、単独での就業のため事故の目撃者がいなくて原因不明となる事故が発生している。

◇ 植木剪定、樹木伐採等における墜落・転落。

◇ 塀を歩いて同じ敷地内の作業場に移動する際に落下。

◇ クリーンセンターの焼却炉のピットにゴミ袋を投入する際に転落。

◇ 脚立を使用し、天井に発生した鳥の巣の清掃中、足を滑らせて転落。

◇ 高さ 3メートルの所で作業している人にゴミ袋を届けようと梯子を上り、その後降りる際に梯子から滑り落下したと推測される。

◇ 傾斜面の草刈作業中、足を滑らせ斜面を 2メートル滑り落ちた。

◆年齢別状況

年齢別での事故状況は、71 歳から 75 歳が 38.6% と最も多い。男女別では、男性は 71 ～ 75 歳が、女性は 66 ～ 70 歳が最も高い数値となっています。